

# お茶の水女子大学 女性リーダー育成の取り組み

H18年 「女性リーダー育成プログラム」開始  
(文部科学省特別研究経費H18～21)

H20年 リーダーシップ養成教育研究センター設立

H22年 「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」開始  
(文部科学省特別経費 H22～27)

## 1-1 リーダーセンター設置の背景 -日本の女性活用状況-

### 女性の能力発揮の機会が不十分

ジェンダーエンパワーメント指数	58位/108ヶ国
ジェンダー・ギャップ指数	98位/130ヶ国
研究者に占める女性の割合	13%

## 1-2 リーダーセンター設置の背景 -政府の取り組み-

### 数値目標の設定

- 国立大学、研究機関における自然科学系女性研究者採用率⇒**25%**
- 2020年までに、あらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合⇒**30%**

## 2 リーダーセンターのミッション

### 男女共同参画社会を実現する 「お茶大モデル」の構築

#### 「お茶大モデル」とは

---

Academic

国際水準の女性研究者育成プログラム

Mindset

リーダーシップマインドの醸成

Diversity

多様性(女性)を活かす組織づくり

## 3-1「女性リーダー社会起業特論」 -科目の目的-

### リーダーの思考特性・行動特性の醸成

- 大組織にあっても、主体的に考え、行動
- どんな立場でも、「小さな変革」の原動力になる人に

# 3-2 シラバス

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	講師名	所属
オリエンテーション	1	オリエンテーション アクティブ・ラーニングの勧め	グループ活動を行う上で大切な「場作り」について学び、実際のアイスブレイキングを体験する。 アクティブ・ラーニングとは何か、なぜ効果があるのかについて概説し、その効果を体験する。	4月11日	村山真理	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター
マインドセット構築	2	なぜ、今、女性リーダーか？	「女性リーダー」はなぜ必要なのか。国際比較にみる日本の女性活用の現状について、グループワークを通してアクティブに学ぶ。	4月18日	池田和嘉子	日本女性学習財団
	3	リーダーシップ論	ケーススタディ・ディスカッションを通して、「リーダーに必要な素養」を分析し、今、求められている「リーダー」像を模索する。	4月25日	小杉俊哉	慶応義塾大学
	4	自分を知る	自分の思考特性・行動特性を意識することにより、自分の持つ偏りの源への気付きを促すと共に、タイプ別のストレス・コーピング、目標のたて方などについて学ぶ。	5月9日	村山真理	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター
プレゼン課題について 背景知識学習	5	社会問題と問題解決支援活動の実態	社会問題の種類(環境、貧困、人権、途上国、病気など)と、それに対して支援する方法(個人として、企業として、政治として、NPOとしてなど)を概説する。	5月16日	亀山俊朗	お茶の水女子大学キャリア支援センター
	6	社会問題を解決するソーシャルプロデュース	支援する組織(NPO、行政、企業、一般の人々などそれぞれの長所・短所、強み・弱みについて具体的事例を紹介しつつ概説し、異なる形態の組織の連携を企画するソーシャルプロデュースという仕事について学ぶ。	5月23日	野村尚克	Causebrand Lab. 代表
ロールモデルから学ぶ	7	事例1: 坪田秀子	ロールモデルの人生の軌跡を通して、幸運な「偶然」を呼びこむ法則(クランボルツ理論・セレンディピティ)について考察する。	5月30日	坪田秀子	お茶の水女子大学学長特命補佐。前日本ロレアル取締役副社長
	8	事例2: 横田響子	ロールモデルの人生の軌跡を通して、人的ネットワーク(スモールワールド・6次の繋がり)の構築法・活用術について考察する。	6月6日	横田響子	コラボラボ代表取締役社長
	9	事例3: J-Winメンバー	J-Winの活動を通して、異なる企業・キャリアを超えた女性同士のネットワークによる社会活動の経験から何を学んだか。個人の体験から普遍的「学び」の法則を発見する。	6月13日	亀山・村山	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター・キャリア支援センター
スキルトレーニング	10	パーソナルブランドを考える	受講者は、第4回講座で把握した自身の特性、キャリア等を加味した上で、自身のパーソナルブランドについて考え、本講座の課題作成にあたり「自分が貢献できること」を明確化し、「ショーケース」の準備をする。	6月20日	坪田・村山	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター・学長特命補佐
	11	プレゼンテーションスキル	効果的なプレゼンテーション手法について学ぶ。	6月27日	林信貴	電通
	12	ショーケース	受講者それぞれが「パートナー募集」のプレゼンテーションを実施し、「社会問題を解決するビジネスモデル策定」のパートナーを決定する。	7月4日	坪田・村山	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター・学長特命補佐
	13	アサーション・トレーニング	自分自身のコミュニケーションスタイルについての新たな気付きを促すと共に、グループ力を高めるコミュニケーションの取り方、協働を進めて行く上で必須の「適切な自己主張」について、ロールプレイを通して主体的に学ぶ。	7月11日	村山真理	お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター
プレゼン	14	進捗報告プレゼン	それぞれのグループのトピックエリアと今後の作業予定について発表し、指導教員から助言を受ける。	7月18日	坪田、亀山、村山	お茶の水女子大学
	15	最終プレゼン	「社会問題を解決するビジネスモデル」のアイデアを、各グループが発表する。	9月5日	坪田、野村、亀山、村山	お茶の水女子大学 Causebrand Lab.